

当面の技術対策（畜産編）

令和4年10月15日

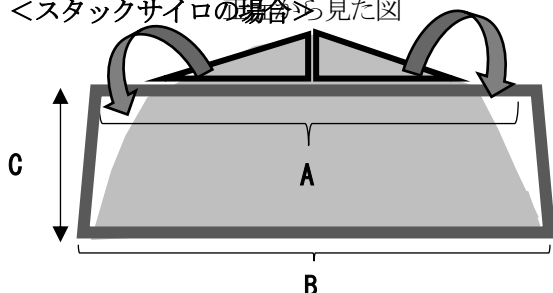
発行：ゆとりみらい21農業推進協議会指導部会

1 粗飼料の在庫量を把握しましょう

今年の幕別町忠類の飼料作物の乾物収量は、1番牧草が平年より増加（平年比110%）、2番牧草は平年より減少（平年比91%）、サイレージ用とうもろこしは平年よりやや減少（平年比97%）という結果になりました。

世界的な飼料価格の高騰のあおりをうけ、粗飼料給与量が増加することが考えられます。粗飼料の使用ペースを考え、在庫量を把握することで、**年間の給与計画**を立てましょう。参考までに図1と図2で、スタックサイロでの粗飼料貯蔵量の計量事例を紹介しております。粗飼料の在庫量把握に関しまして、ご相談がある場合は、JA 又は普及センターにお問い合わせ下さい。

＜スタックサイロの場合＞ 見た図



横から見た図

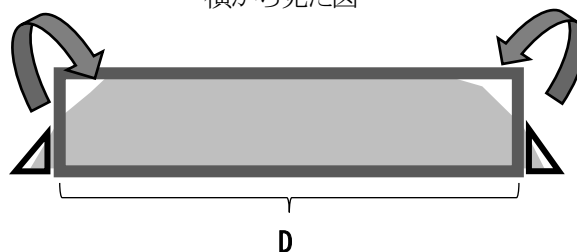


図1：正面から見たスタックサイロを台形とする 図2：横から見たスタックサイロを長方形とする

スタックサイロの体積 (m³) = (A+B) × C ÷ 2 × D

予想出来高 (t) = スタックサイロの体積 (m³) × 推定m³重 (kg/m³) ※1 ÷ 1000 × 利用率 ※2

※1 牧草：乾物重量130～150 (kg/m³) で現物重量520～600 (kg/m³) (乾物率25%の場合)

飼料用トウモロコシ：乾物重量150～180 (kg/m³) で現物重量500～600 (kg/m³) (乾物率30%の場合)

※2 利用率 (%) = 100 - 腐敗により捨てるサイレージの割合 (%)

2 更新草地への雪腐病対策

水はけが悪い草地や、9月中旬以降には種した草地は草丈が低く養分の蓄えが不十分のため、雪腐病の被害を受けやすくなります。雪腐病防除薬剤の散布を検討しましょう。また、薬剤散布後に降雨があると防除効果が低下する恐れがあります。表1を参考に、雪が降り始める11月中旬を目途に薬剤散布をおこないましょう。

表1 雪腐病防除薬剤例

薬剤名	作物名	病害名	使用濃度	使用時期	使用回数
トップジンM 水和剤	イネ科牧草	雪腐大粒菌 核病	1,500～2,000倍	根雪前	2回以内
	マメ科混播牧草	菌核病	2,000倍	根雪前	1回

日没が早くなっています。危険箇所は日頃から情報共有し、**整理整頓、計画的な作業を心がけて、作業のミス・事故を未然に防ぎましょう。**